

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市洪川町三丁目5番地7
 (洪川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2010/03/19

22年3月19日午前10時
 スタート 晴は度
 農業への関心が高
 まりつつある。
 豊かな心と地域を
 愛する。 三月てる。
 子どもへの農業教育
 を22年度は推進
 する。
 子供達に農業に眼を向けさ
 せることにより近代化迎撃で
 あまりにも機械化した社会への
 疑問や環境問題により一層
 深く関心を持ってもらおう目的で
 もある。もう一つの目的は農業者
 経産者、環境者と共に文部村字者
 に農業教育を通じて教育力を求めたい。



2010/03/19

↑
 エ起し前
 の用件
 一五〇坪程
 この位が
 一畝位です。



2010/03/19

名都高等学校(通信教育)の
 在校生が教員で田んぼの
 エ起しを実施した。
 雨が降り、雨が降り、その合間を抜
 けて実施されたが雨水と泥との
 格闘場でした。
 よく粘って二時間で終了。六月の
 田植の本番に準備します。
 六月本番には小学生30名も
 参加。この日は周辺も賑わって
 大変だと思えます。
 しかし街づくり、教育はこまごま
 な状況とみんな待っているのだ
 です。
 稲刈りの十二月までたのしみです。
 10月の表が8、表の用件で
 採れるそうです。
 充分みんなで試食お楽しみ。
 今年のテーマは
 「次世代を担う子供達の感性を農業教育
 に決意。」



2010/03/19

↑
 もう一息、
 フワでマユ。
 自分で力で
 行なうルールで
 すので稲刈の時
 はカマで刈る。



2010/03/22

↑
 エ起しの跡、水が入れば田んぼ

↑
 まだ腰が入って
 ない手、おけをか
 まかせでエ起し
 を行なっています。
 ほどです。